

2024年度 日本水文科学会 学術大会プログラム

1. 大会日程

- 10月12日(土) 9:30～ 大会受付開始
10:00 開会
10:10～11:30 一般研究発表(口頭)
11:30～13:00 昼食
13:00～15:00 一般研究発表(ポスター) コアタイム1, 2
15:10～16:10 一般研究発表(口頭)
16:20～17:45 総会
18:00～19:30 懇親会
- 10月13日(日) 日本水文科学会・特別公開企画
9:00～10:20 ①日米学生ジョイントセッション
10:30～12:30 ②ヒューマニティ水文学
12:30～14:00 昼食
14:00～15:00 一般公開企画:身近な環境(ポスター)
および特別公開企画発表(ポスター) コアタイム3
15:10～15:20 一般公開企画発表賞 授与式
15:20～16:20 一般研究発表(口頭)
16:20～16:30 閉会

2. 大会会場: 山梨大学 甲府キャンパス L号館 (〒400-8510 甲府市武田4-4-37)



*最寄り駅から徒歩: JR 甲府駅北口より武田通りを北上(所要時間約20分)

*最寄り駅からのバス: JR 甲府駅北口バスターミナル2番乗り場「武田神社」または「積翠寺」行きバス停「山梨大学」下車(所要時間約10分)

タイムを設けています。コアタイム中はポスター前で必ず待機してください。

- ・コアタイム1 10月12日 13:00～14:00 : P1, P3, P5, P7, P9, P11, P13
- ・コアタイム2 10月12日 14:00～15:00 : P2, P4, P6, P8, P10, P12
- ・コアタイム3 (特別公開企画発表) 10月13日 14:00～15:00 : P14, P15, P16, P17, P18

一般公開企画のポスターの掲載時間は10月13日の14:00～15:00です。

5. 大会関係者

2024年度 学術大会実行委員長, および大会に関する問い合わせ先:

中村高志 (山梨大学・国際流域環境研究センター)

E-mail: suimon.shukai@gmail.com

6. 講演座長

10月12日(土) 口頭発表01～04: 戸崎裕貴 05～07: 一柳錦平

10月13日(日) 口頭発表08～10: 飯田真一

7. 学術大会プログラム

若手(35歳以下)を対象とする優秀発表賞の候補者には講演番号および発表者氏名に下線を付けています。

大会1日目 10月12日(土)

10:00～10:10 **開会挨拶, および事前説明** 大会実行委員長 中村 高志 (山梨大)

● 一般研究発表(口頭)

10:10～10:30 01 地域規模から大陸規模の降水の動的アイソスケイプ: 東アジアの事例

○安達郁哉 (筑波大)・山中勤 (筑波大)

10:30～10:50 02 鉱物種とその構成元素に着目した強酸性湧水形成プロセスの解明

○柳澤良亮 (信州大)・榊原厚一 (信州大)・角野浩史 (東京大)・福島菜奈絵 (東京大)・高橋康 (信州大) 山本淳一 (長野県総合教育セ)・江島輝美 (信州大)

10:50～11:10 03 マルチトレーサーを用いた関東平野西部湧水群の水と溶存イオンの起源の検討

○林武司 (秋田大)・安原正也 (立正大)・中村高志 (山梨大)・黒田啓介 (富山県立大)・中田晴彦 (熊本大)

11:10～11:30 04 御勅使川流域における水質形成プロセスの把握

○木村龍生 (山梨大)・中村高志 (山梨大)・石井駿介 (山梨大)

11:30～13:00 **昼食休憩**

● 一般研究発表(ポスター)

13:00～14:00 コアタイム1 (発表番号が P1, P3, P5, P7, P9, P11, P13)

14:00～15:00 コアタイム2 (発表番号が P2, P4, P6, P8, P10, P12)

P1 温泉水同位体比の高頻度モニタリングによる天水—地圏水混合線の決定

○田中怜 (筑波大)・山中勤 (筑波大)

P2 地理空間分布を踏まえた地震災害後の断水日数と水不足量推計

○井手淨 (環境研)・小林龍之介 (芝浦工大)・田中智大 (芝浦工大)・平林由希子 (芝浦工大)

- P3 土壌の乾燥がカンボジア乾燥落葉林の蒸散量に及ぼす影響
○飯田真一（森林総研）・清水貴範（森林総研）・玉井幸治（森林総研）・壁谷直記（森林総研）・清水晃（森林総研）・荒木誠（森林総研）・大貫靖浩（森林総研）・鳥山淳平（森林総研）・伊藤江利子（森林総研）・久保田多余子（森林総研）・田中憲蔵（国際農林水産研セ）・山中勤（筑波大）・Sophal Chann, Delphis F. Levia, (Forestry Administration CAMBODIA, University of Delaware, USA)
- P4 北極域における大気水蒸気輸送の経年変動：その季節性と地域性の考察
○設楽真央（名大）・福富慶樹（名大）・檜山哲哉（名大）
- P5 青森県八戸市における災害時の湧水・地下水の有用性および供給可能範囲の検討
○笹本和希（立正大）・原美登里（立正大）
- P6 不老川の汚濁負荷源推定に関する研究
○小馬谷一心（アジア航測）・原美登里（立正大）
- P7 栃木県佐野市を流下する秋山川の河川環境
○上岡瑞季（(株)環境総合研）・原美登里（立正大）
- P8 GPM-DPR データで明らかになった 夏季モンゴルの降水特性
○藤井ひな子（名大）・檜山哲哉（名大）・藤波初木（名大）
- P9 気候変動が山梨県域の水資源量に与えた影響評価
○小林秀平（山梨大）・松浦拓哉（山梨大）
- P10 多変量解析を用いた甲府盆地陸水の水質特性の解明
○永井晴也（山梨大）・松浦拓哉（山梨大）
- P11 Hydrologic and land use control of phosphorus discharge from an urbanized river catchment
Wanna ZAW（広島大）・○齋藤光代（広島大）・小野寺真一（広島大）・Muhammad Shahinur RAHMAN（広島大）, 石田卓也（広島大）・Sharon KIMBI（広島大）・Kunyang WANG（広島大）
- P12 Sediment and nutrient discharge in a small suburban catchment for 5 years after the debris flow event in 2018
Sai Tun Aung Si（広島大）・○小野寺真一（広島大）・Sharon KIMBI（広島大）・友澤裕介（広島大）・Wanna Zaw（広島大）・齋藤光代（広島大）・Nang Yu War（広島大）
- P13 水安定同位体用の自動採水器の開発
○一柳錦平（熊本大）・大竹樹生（熊本大）・壁谷直記（森林総研）

15:00～15:10 休憩

● 一般研究発表（口頭）

- 15:10～15:30 05 山岳流域の融雪期流量から算定する降積雪量の変動
○鈴木啓助（信州大・大町市立山岳博物館）
- 15:30～15:50 06 高山帯土壌の土壌物理特性に関連する渓流水の水質形成過程
○石橋未来（信州大）・榊原厚一（信州大）・中村高志（山梨大）・小野裕（信州大）・辻村真貴（筑波大）・藤野真優（筑波大）・鈴木啓助（信州大）
- 15:50～16:10 07 端成分混合解析によるレナ川河川水の成分分離
○本間朝香（名大）・檜山哲哉（名大）・Lebedeva Liudmila（ロシア科学アカデミー・永久凍土研究所）・浅井和由（(株)地球科学研）・朴昊澤（JAMSTEC）

● 総会 16:20～17:45

● 懇親会 18:00～19:30

大会2日目 10月13日(日)

● 日本水文学会・特別公開企画

水文学・水文科学は、地球と地域の水循環や水環境を、自然科学的、人文・社会的に研究する分野で、限られた水資源のガバナンスを社会的に明らかにする社会水文学では、水の公共性や健全な水循環の概念などを元に、様々なアプローチが取られ始めています。一方、人の内面にある水に対する価値観や規範、表象、信仰や、外面に現れる生活様式や制度は、現代につながる様々な社会変容によって大きく変化しており、水に対する多様な価値を共有し、水と人が共生するためには、水に対する認識と行動、制度がどのようにつながり、それぞれの変容がどのように自然と社会へ影響を与えているかを明らかにする必要があります。本特別公開企画では、日米学生ジョイントセッション、招待講演とパネルディスカッション、ポスターセッションを通して、ヒューマニティ水文学（人間文化水文学）ならびに人文・社会水文学の視点から、水の価値の多様性について共有し、自然と社会と人をつなげる水の役割について議論することを目的としています。

形式：山梨大会場とオンラインのハイブリッドにて開催します。

9:00～10:30 ①日米学生ジョイントセッション

“Students for sustainable water in US and Japan” 水をテーマにした地域や学校での研究・活動などの取り組みを、アメリカの高校生と日本の学生（大学生・高校生）がお互いに紹介し交流します。

*参考（学生による水ネットワーク）：<https://s2h2o.org/>

接続先：<https://us06web.zoom.us/j/86456377624?pwd=HHdNgG6CvVrdKueCh9TvkKcza0UkjE.1>

ミーティング ID: 864 5637 7624 パスコード: 385546

Japan-US student joint session in Japanese Association of Hydrological Sciences

“Students for sustainable water in US and Japan”

October 13th (Sun) 9am-10:20am in Japan/ October 12th (Sat) 5pm-6:20pm in California, US

Speakers and titles (tentative)

1) Talia Gurdak (High school student, Santa Cruz, CA)

Overview of the student network with water-related projects

2) Shino Kamiya, Reimi Oohama, Manaka China (High school student, Koyo High-school, Okinawa)

Contiguous survey of Yuuhi river – toward improvement of water quality -

3) Kaia Gurdak (High school student)

Impacts of climate change on the coastal waters

4) Takayuki Hiraki (College school student, Osaka Metropolitan University)

A survey using Social Networking Services on actual usage of well water and water supply stations at the time of disaster

5) Paige Krinks (Graduate student, SF State Univ)

Sea level rise and groundwater in SF bay

6) Kabinga Mususu (Graduate student, Yamanashi University)

Why do people maintain autonomously managed water systems?

10:30～12:30 ②ヒューマニティ水文学：招待講演者による口頭発表とパネルディスカッション

司会：総合地球環境学研究所・谷口真人

接続先：<https://us02web.zoom.us/j/82652425208?pwd=0HyEPl0uVgVZdIWyp6HTbgerLsGvde.1>

ミーティング ID: 826 5242 5208 パスコード: 885477

- 10:30-10:50 池上 尚 (埼玉大学) : 水分多寡にまつわる形容表現小史
- 10:50-11:10 河野 忠 (立正大学) : 伝説や生活習慣を切り口とした水環境研究
— 「弘法水」を例として—
- 11:10-11:30 嶋田奈穂子 (総合地球環境学研究所) : 聖地の立地に現れる、人の環境認識
— 地下水への意識 —
- 11:30-11:50 島袋美由紀 (琉球大学) : ゲーミフィケーションで考えるサンゴ礁島嶼の水循環と水資源
- 11:50-12:30 総合討論

12:30~14:00 昼食休憩

● 一般公開企画：身近な環境（ポスター）14:00~15:00

- C1 安全な居場所での自己開示がもたらす影響～大衆温泉で出会った人達～
○湯本稀 (笛吹市立春日居小学校6年)
- C2 オオトリゲモが未来の地球を救う?!～オオトリゲモの可能性を探る～
○武井美遥 (山梨大学教育学部附属中学校2年)

● 特別公開企画発表（ポスター）14:00~15:00 コアタイム3（発表番号が P14, P15, P16, P17, P18 の方）

- P14 Exploring the Behavioral Motivations and External Influences on the Establishment and Management of Autonomously Managed Water Systems (AMWS) in Small Communities
○Kabinga Mususu (Univ. Yamanashi)・西田継 (山梨大)・石平博 (山梨大)・中村高志 (山梨大)
- P15 カンボジア農村部における家庭での飲料水管理の実態と住民行動
○伊藤弥生 (山梨大)・伊藤友里 (山梨大)・中村高志 (山梨大)・西田継 (山梨大)・宮本和子 (山梨大)
- P16 Factors Affecting Ammonium Contamination in Deep Groundwater of Yokohama City, Japan
○Rus Hishdan Huzairi (Univ. Yamanashi)
- P17 Psychology of Waste Management (WM); A comparative Study of Japan and Ghana's WM Systems
○Adika Aseye Stella (Univ. Yamanashi)
- P18 山間部地域における持続可能な水資源の活用を目指した地域の水の特性と文化の調査
○小林あき穂 (山梨大)

15:00~15:10 休憩

- 一般公開企画発表賞 授与式 (15:10~15:20) 会長 谷口 真人 (地球研)

● 一般研究発表（口頭）

- 15:20~15:40 08 ヒノキ林斜面における土壌物理特性と根系が土壌水理特性へ与える影響の解明
○勝島大地 (信州大)・榊原厚一 (信州大)・小野裕 (信州大)・鈴木啓助 (信州大)・牧田直樹 (信州大)
- 15:40~16:00 09 伊豆諸島青ヶ島における水道水源貯水率の変動特性—島嶼の水文誌〈続〉—
○森和紀 (日大・三重大)・山中勝 (日大)
- 16:00~16:20 10 熊本において梅雨期に観測された水蒸気同位体比の変動
○田上雅浩 (気象研)・一柳錦平 (熊本大)・朴昊澤 (JAMSTEC)

- 閉会挨拶 16:20~16:30 常任委員長 樋口 篤志 (千葉大)